

様式第1号の2(第4条の3関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画~~(変更計画)~~書

令和7年 6月20日

(宛先) さいたま市長 殿

提出者

住 所 さいたま市北区吉野町1丁目397番地

氏 名 東京インキ株式会社 吉野原工場

工場長 新山 由彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-663-0311

さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第12条の2第1項の規定により、令和7年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成・変更したので、提出します。

事業所の名称	東京インキ株式会社 吉野原工場
事業所の所在地	さいたま市北区吉野町1丁目397番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
変更の概要	

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	16 化学工業 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)
②事業の規模	資本金32億円
③従業員数	348人(令和7年3月末)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	*廃プラ(破碎・埋立) → 破碎・埋立(委託) *廃プラ(焼却) → 焼却処分(委託) → セメント原料として再利用 *廃プラ(パウダー) → 焼却(委託) → セメント原料として再利用 *廃プラ(土入りペレット) → セメント原料として再利用 *金属くず → 破碎・圧縮(委託) → 金属原料として再利用 *廃油(鉱油系・含油水) → 油水分離(委託) → 機械油の原料として再利用 *ガラス・陶磁器くず → 破碎・圧縮(委託) *木くず → 焼却(委託) *廃蛍光管 → 水銀加熱回収(委託) → ガラス原料として再利用 *汚泥 → 埋立(委託)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre>graph LR; A[管理部長] --> B[吉野原工場長]; B --> C[各部部长];</pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) 工場内の各製造部から排出する産業廃棄物の発生量を、前年度比1.0%減少させる様、ISO14001のEMS活動の環境目的・目標としてとらえ、各製造部に協力を要請している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 工場内の各製造部から排出する産業廃棄物の発生量を、前年度比1.0%減少させる様、ISO14001のEMS活動の環境目的・目標としてとらえ、各製造部に協力を要請する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内各製造部から排出する廃棄物の分別を、ISO14001のEMS活動の一環として徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を継続する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
（これまでに実施した取組） 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の種類毎のマニフェストを誤り、記載漏れの無いよう正確に作成する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理業者の現地訪問を年1回行い、当該廃棄物の処理状況を確認する。 ・ マニフェスト（A票）の写しを5年間保管する。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 事業所において常時使用される従業員数が300人以上の製造業者、事業所において常時使用される従業員数が100人以上若しくは資本金（あるいは出資金）の額が5,000万円以上の建設業者、一日当たりの施設能力が30万m³以上の浄水場管理者等又は一日当たりの施設能力が3万m³以上の下水道終末処理場管理者等が事業所ごとに、日本工業規格A4により作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「変更の概要」の欄は、処理計画の内容を変更する場合に記入することとし、その記入に当たっては、変更をした部分について、変更前及び変更後の概要を対照させること。
- 4 「当該事業所において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業所において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※事務処理欄は記入しないこと。

付表－1(様式第1号の2(第2面)、様式第1号の4(第2面) 参考資料)

産業廃棄物種類別排出量の前年度の実績、本年度の目標の内訳

産業廃棄物の種類	廃プラスチック (破砕・埋立)	廃プラスチック (焼却)	廃プラスチック (パウダー)	廃油(鉱油系 ・含油水廃油)	ガラス・陶磁 器くず	廃蛍光管	廃乾電池	計(t)
前年度(R6年度)の実績(t)	1.37	0.00	0.00	3.40	0.48	0.00	0.18	5.43
本年度(R7年度)の目標(t)	1.36	0.00	0.00	3.37	0.48	0.00	0.18	5.39

本年度の目標は、前年度実績比1.0%減としました。

付表－2(様式第1号の2(第4面)、様式第1号の4(第2面) 参考資料)

産業廃棄物種類別の前年度(R6年度)の処理委託量実績の内訳

産業廃棄物の種類	廃プラスチック (破砕・埋立)	廃プラスチック (焼却)	廃プラスチック (パウダー)	廃油(鉱油系 ・含油水廃油)	ガラス・陶磁 器くず	廃蛍光管	廃乾電池	計(t)
全処理委託量(t)	1.37	0.00	0.00	3.40	0.48	0.00	0.18	5.43
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0
再生利用業者への 処理委託量(t)	-	0.00	0.00	3.40	-	0.00	0.18	3.58
認定熱回収業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0

付表－3(様式第1号の2(第5面) 参考資料)

産業廃棄物種類別の本年度(R7年度)の処理委託量目標の内訳

産業廃棄物の種類	廃プラスチック (破砕・埋立)	廃プラスチック (焼却)	廃プラスチック (パウダー)	廃油(鉱油系 ・含油水廃油)	ガラス・陶磁 器くず	廃蛍光管	廃乾電池	計(t)
全処理委託量(t)	1.36	0.00	0.00	3.37	0.48	0.00	0.18	5.39
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0
再生利用業者への 処理委託量(t)	-	0.00	0.00	3.37	-	0.00	0.18	3.55
認定熱回収業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	-	-	-	-	-	-	-	0

本年度の目標は、前年度実績比1.0%減としました。